

／ 闘病記文庫トークイベント ／

参加費無料
事前申込不要

病気の子ども 「きょうだい」を支えたい — 「子ども」が「子ども」でいられるように

講師 清田 悠代 氏 (本学卒業生・NPO 法人しぶたね理事長)

日時 2018年10月2日(火) 10:40 ~ 12:00

場所 大阪府立大学 羽曳野図書館センター

しぶたねは、病気の子ども「きょうだい」のための団体です。きょうだいのためのワークショップの開催や、病棟に入れない年齢のきょうだいとあそぶ病院活動、支援者向けの研修、啓発などを行っています。

私は4歳下の弟が心臓病で、病児の姉として様々な気持ちを抱えて過ごしてきました。弟が死ぬかもしれない不安、弟と母を支えねばならないプレッシャー、友人とのギャップ、孤立感…。弟を亡くした後、同じ立場のきょうだいに会ってみたいと思ったことと、病院で見た小さなきょうだいたちの姿が活動立ち上げにつながります。

きょうだいたちが、子ども時代を大切に過ごせるように、自分のためのものや場に出会えるように、必要なことを考え続けています。(講師：清田氏)

闘病記文庫とは、市民研究グループ「健康プロジェクト」からの寄贈を受け、2006年に大阪府立大学療養学習支援センターに開設されたコーナーです。2009年に羽曳野図書館センター内に移設され、蔵書数は、1,500冊以上になりました。本学の学生・教職員だけでなく、所定の手続きを行えば、学外の方も、閲覧・複写・貸出などのサービスを利用できます。みなさまのご利用をお待ちしています。

NPO法人
しぶ
たね

講師の清田さんって、どんな人？

2000年大阪府立大学社会福祉学部卒業。社会福祉士資格取得。心臓病の弟の死をきっかけに、きょうだい安心していられる場を増やそうと「しぶたね」を設立。2001年、米国きょうだい支援プロジェクトのドナルド・マイヤー氏による「シブショップファシリテーター養成トレーニング」を終了。2017年に第11回よみうり子育て応援団大賞の大賞を受賞。2018年2月NHKラジオ深夜便に出演。